

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 07 05	中期総合計画主要施策番号	2-02,3-09,4-04,5-07		担当課	部・課	建設部 都市計画課	
事業名	都市公園事業(公共【都市計画】)					内 線	3355	
						E-mail	toshikei@pref.nagao.lg.jp	
実施期間	H20 ~	根拠法令等	都市公園法第2条の3、第12条の2					
実施方法	県が直接実施						国庫・県単	補助公共

事業の概要等	目的(必要性)	公園利用者が安全で快適に利用できるよう、また災害時に緊急避難地、防災拠点地として活用できるよう、既存公園施設の大規模な改修、改善を行う。				
	対 象	スポーツ、レクリエーション、散策等を楽しむために、県都市公園を訪れる子どもからお年寄りまでの多くの県民				
	目指すべき姿	既存公園施設を健全な状態に改修・改善を行うことにより、住民福祉の増進に寄与するとともに、防災機能の向上を図る。				
	事業内容	県都市公園の老朽化施設等の大規模な改修工事を行う。 補助率 社会資本整備総合交付金(国:1/2 県:1/2、国:45/100 県:55/100)				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 1箇所当平均工事期間:3.5年(H20~H24) (H24への繰越額:121,071千円)
	最終予算額 (A)		千円	729,028	730,896	357,990	
	決 算 額 (B)		千円	408,289	609,825	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	221,840	316,624	187,515	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	3.74	6.08	3.79	
	概算人件費 (C)		千円	-	-	-	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	408,289	609,825	357,990		

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 概算事業費 / 事業実施箇所数
	事業実施箇所数(活)		箇所	5	5	3	
	公園施設(有料)利用者数(成)		千人	774	866	870	
	<効率指標(単位当りコスト等)> 事業実施箇所数		千円 / 箇所	81,658	121,965	119,330	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価				評価区分
	既存公園施設を健全な状態に改修・改善を行うことにより、住民福祉の増進に寄与するとともに、防災機能の向上を図る。		駒場公園についてはプールのバリアフリー化を含めた大規模改修、松本平広域公園についてはサイクリングロード等園道のバリアフリー化を実施、飯田運動公園他2公園についても園路等のバリアフリー化を実施し、公園施設機能の維持・向上や公園利用者の安全性・快適性が図られた。				b 期待どおり

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・当該公園は県有施設であり、公園利用者の安全・安心を確保するため、公園施設の改修・改善を行う必要がある。 ・建設から相当年経過した公園施設も多く、バリアフリー化等の改修・改善工事の必要性は高い。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・今後も老朽化の著しい公園施設の改修・改善工事が予想されることから、将来の改築に係るコストの低減を図るため7つの県都市公園の長寿命化計画を策定中である。(計画策定期間H22~H25) ・遊具の安全規準の改定を踏まえ、公園施設の安全性を最優先に、バリアフリー新法への適合も合わせた計画的なリニューアル(改修・改善工事)と、引き続きコスト縮減に取り組んでいく必要がある。				
	特記事項					